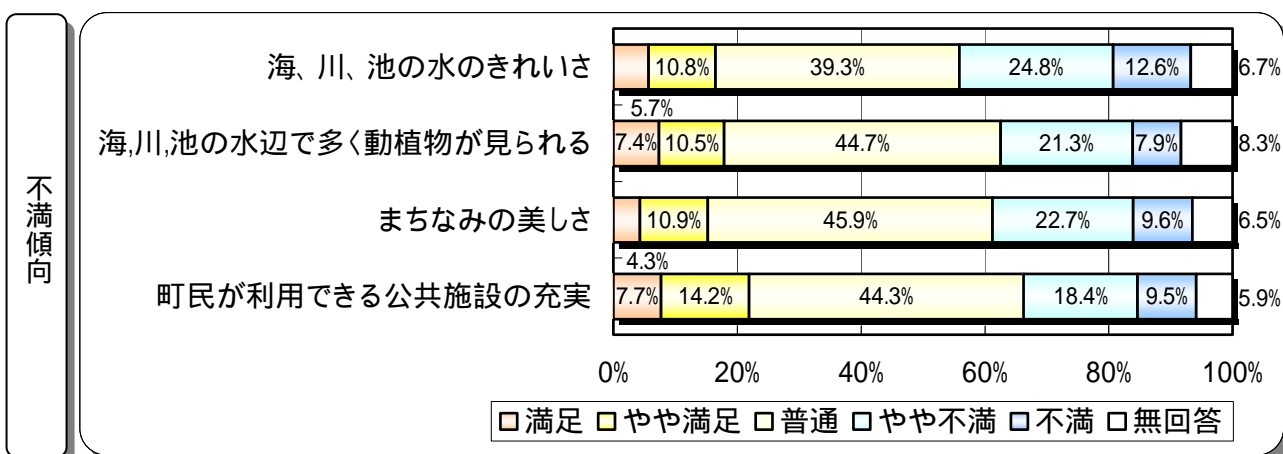
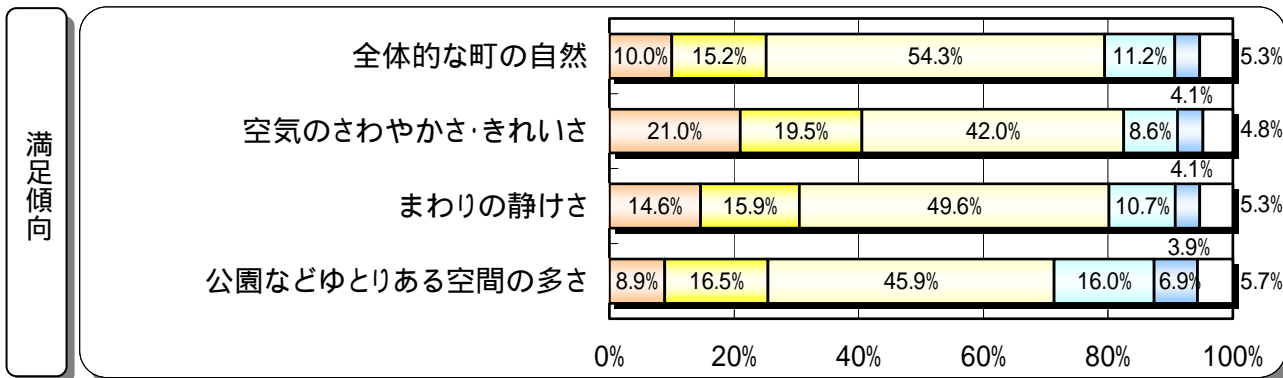


## 2 - 2 身近な環境について

設問 あなたは羽幌町の環境について、どのように感じていますか

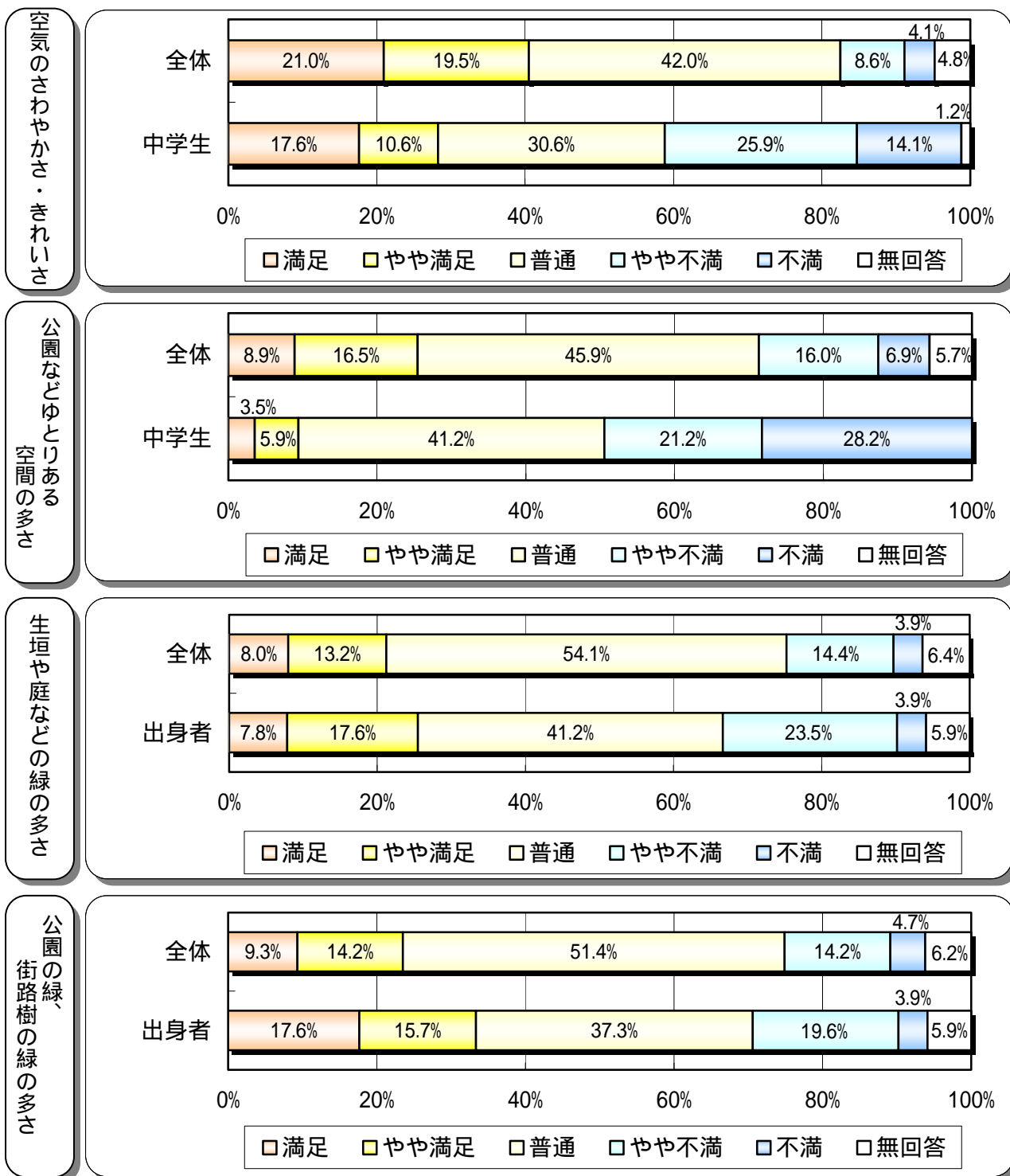
本設問では、空気、水、動植物、騒音、まちなみ、緑、公園・広場、道路、公共施設等に対して「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階で評価を得た。

<全体（町民、高校生、中学生、出身者）>



- ・ 満足度の強い項目は、“自然環境”、“生活環境”、“憩いの場”に関するものであった
- ・ 不満度の高い項目としては、“水辺の環境”や“まちなみ景観”、“公共施設などの利便性”に関わるものであった
- ・ “自然環境”や“生活環境”、“憩いの場”といった“身近な環境”に対する評価を得ている
- ・ “水辺の環境”に関わる項目についての不満度が高いことは、農薬や生活排水、ゴミの不法投棄などによる“水質の悪化”に対する不安が現れたものと考えられる
- ・ “まちなみ景観”や“公共施設などの便利さ”についての不満度が高いことは、施設・店舗の老朽化や閉店した店舗が目立つ等により、“景観”と“利便性”が損なわれていると考えられる

< 回答者群による傾向の違い >



- ・ それぞれの回答者群ごとの全体的な傾向としては、最も満足度が高いのは出身者で、不満度が高いのは中学生であった
- ・ 「空気のさわやかさ・きれいさ」については、全体では満足の傾向が強いが、中学生については不満度が高くなっている
- ・ 「公園などゆとりある空間の多さ」についても中学生における不満度が高くなっていることは、普段の遊び場として公園を利用することが多く、公園の機能拡充を求める意識が強いためであると考えられる
- ・ 出身者の回答において、「生垣や庭などの緑の多さ」「公園の緑、街路樹の緑の多さ」といった“まちなかの緑”への不満が比較的多いが、これは回答者自身が現在の居住地と比較した結果である